

ただいま

開催中 です

## 第2回企画展「水沢の蘭学」

後藤新平記念館合同企画 第1回企画展「“先見の明”を持つ二人の男たち」～時代を越えてつながる生き方～は、大好評をいただき、終えることができました。ご来館、誠にありがとうございました。



ただいま、第2回企画展「水沢の蘭学」ー蘭学にかかわった人々ーを開催しております。蘭学者高野長英を育んだ奥州水沢の蘭学とは。奥州水沢の蘭学に多大なる影響を与えた一関藩、建部家、大槻家とは。仙台藩・一関藩の蘭学関係者の存在がなければ、水沢の地に蘭学の発展はなかったと言っても過言ではありません。一方で、脈々と受け継がれてきた進取の精神と学問を好む気風がこの地にはあったことも要因かもしれません。以下の展示構成と39点の資料を通して、水沢の蘭学にせまっていきます。

## 【展示構成】

- 1 蘭学の発展
- 2 蘭学と仙台藩
- 3 蘭学と一関藩
- 4 蘭学と水沢

皆様のご来館を、心よりお待ちしております。開催期間と時間は、令和7年8月26日(火)～11月16日(日)、9:00～16:30です。

休館日は月曜日となりますが、月曜日祝日の場合は、翌日となります。

令和7年度重要文化財の  
公開のお知らせ

第2回企画展と並行して、10月7日(火)～11月3日(月・祝)まで、当記念館常設展示室で重要文化財58点のうち14点、茂木家寄託資料10点、企画展関連資料5点、合計29点を公開しております。展示資料すべてお勧めですが、特に当学芸調査員のお勧めは、重要文化財 高野長英著『繡巻得師草稿(はんかんとくしそうこう)』[オランダ語の文法解説書]、重要文化財 高野長英著『星学略記草稿(せいがくりゃっきそうこう)』[古代ローマ・ギリシャの天文学史の略述書]で長英のきれいな字で書かれた貴重な資料です。必見です。



## 次回の企画展のお知らせ(予定)

## 【第3回 企画展】

## 「高野長英旧宅資料展」

期日 11月26日(水)～4月19日(日)